

次期長野県食と農業農村振興計画の達成指標の項目及びその考え方

項目	平成28年度	設定の考え方
1 中核的経営体数	8,415経営体	将来にわたり本県農業生産を維持・発展させるため、次代を担い、本県農業を支える中核的経営体を確保する。
法人経営体の数	958経営体	経営継承による営農の継続、経営発展等を図るため、法人経営体を育成する。
2 担い手への農地の集積率	41%	中核的経営体(担い手)における作業の効率化、低コスト化を実現するため、農地の利用集積を促進する。
3 集落営農組織数	327組織	担い手が不足する地域等において、将来にわたり農地を維持管理していくため、多様な農業者が相互に支え合う集落営農組織の育成及び統合を進める。
4 新規就農者数(45歳未満)	224人	中核的経営体の維持発展を図るため、新規就農者数を毎年〇人以上確保する。
5 農業法人等への就業者数(単年度・新規)	113人	法人等が規模拡大を図りながら持続的に経営を進めるため、安定的に雇用就業者を確保する。
6 効率的な水田農業経営体数とその面積シェア	617経営体 34.6%	競争力のある経営体が主体となった水田農業を推進するため、効率的な生産が可能な5ha規模以上の水田農業経営体を育成する。
7 実需者ニーズの高い県オリジナル品種の普及面積(米・麦・大豆・そば)	2,003ha	多様化する消費者・実需者ニーズに対応するため、独自性・強みを持つ県オリジナル品種の生産を拡大する。
8 果樹オリジナル主要品種等の栽培面積	1,763ha	既存オリジナル6品種(シナスイート、シナゴールド、秋映、シナトルフェ、ナガノパープル、シャインマスカット、サザンスイート)に加え、新たな3品種(りんご長果25、ブドウ長果11、スモモ長果1)の早期産地化を図るため、栽培面積を拡大させる
9 りんごの高密度植・新しい化栽培の栽培面積	227ha	早期成園化・多収化を図るため、高密度植栽培等の導入面積を拡大させる
10 夏秋期のレタス、はくさい、キャベツの全指定産地出荷量に占める契約割合	36.1%	国内農産物市場規模が縮小する中で、安定的な販路を確保するため、契約取引割合を増加させる。
11 信州ブランド魚の生産量(信州サーモン・信州大玉イワナ)	376t	稚魚供給量を増やすため、水産試験場の施設整備を行い、安定的な食用魚の生産を図る。
12 信州プレミアム牛肉認定頭数	3,477頭	県外食肉市場での新規認定に加え、高い市場ニーズに応えるため、年間100ずつの増頭を目指す
13 国際水準GAPの取得件数	14件	国際的な取引拡大への確に対応するため、国際水準GAP取得件数を現状の3倍に拡大する。
14 農業用水を安定供給する重要な用排水施設の整備箇所数	—	農産物の生産に必要な農業用水を安定供給するため、期間内に整備する頭首工、用排水機場、水路トンネル、水路橋、サイホン等の重要構造物の整備箇所数
15 「おいしい信州ふーど(風土)」SHOP登録数	1,298店舗	県産農畜産物の魅力向上を図るため、「おいしい信州ふーど(風土)」を取扱うSHOPの登録店舗数を拡大する。
16 県が主催する商談会における農業者等の成約件数	208件	農業者と食品産業等との戦略的なマッチングを図るため、商談会での成約件数を毎年〇〇件確保する。
17 県産農畜産物・花きの輸出額	農畜産物 523,439千円 花き 40,217千円	東南アジア等を中心に需要が高い県産農畜産物等(ぶどう・りんご他)の輸出量拡大を図り、輸出額20億円をめざす。
18 売上高1億円以上の農産物直売所数及び売上総額	52件 15,149百万円	食の“地消地産”の推進を図るため、機能強化する主な農産物直売所の数及び総売上額を拡大する

19	県産食材提供施設数	—	県産食材の提供に取り組むことを宣言した宿泊・飲食業等の施設数を拡大する
20	学校給食における県産食材の利用割合	45.7%	子どもたちの食への理解を深めるため、学校給食で県産農産物を利用する割合を拡大する
21	地域ぐるみで取り組む多面的機能を維持発揮するための活動面積	40,827ha	農村の多面的機能を維持発揮するため、多面的機能支払事業及び中山間地域農業直接支払事業により、期間内に農地や用水路、農道等の保全活動を共同で行う
22	耕作放棄地解消面積	991ha	農地の有効利活用を進めるため、農振農用地内における再生可能な荒廃農地の解消を目指す。
23	都市農村交流人口	624,909人	都市住民との交流人口を増やすため、地域資源を活用した農村体験などを提供する。
24	地域おこし協力隊の隊員数	315人	農村コミュニティの維持・強化に資するため、地域外の人材を積極的に誘致し、その定住・定着を図る。
25	農業用水を利用した小水力発電エネルギーの容量	2,184kW	豊富な農村資源を活用するため、期間内に整備する小水力発電施設の設備容量
26	新たに観光資源として活用した 疏水、ため池、棚田の箇所数	—	疏水等の魅力を観光資源として活用するため、期間内に新たに観光客の受け入れ等を可能として発信した疏水、ため池、棚田の箇所数
	生産量全国1位の品目数	7品目	全国的に生産量が減少する中で、国内外の実需者の信頼度を高めるため、生産量全国第1位の品目を拡大する
	きのこ生産量の全国順位 (えのきだけ、ぶなしめじ、エリンギ)	1位	きのこ王国県を保守するため、全国1位の生産量を維持する
	銘柄豚の出荷頭数	40,654頭	信州産のおいしい豚肉の消費を拡大するため、出荷頭数を25,000頭増やす
	農業HACCPや畜産GAPの取組農場数	取得率0.07%	国際規格の導入と環境に配慮した持続可能な畜産を推進するため、毎年20事例以上取り組む